

市役所の「リアル」、聞いてみました！

# 若手職員座談会

就職を考えたとき、民間企業・公務員どちらにするか？どこの県や市町村で働くかなど考える人は多いと思います。そこで気になるのが「先輩たちはなぜ福島市役所を選んだのか」「今の仕事や雰囲気」「イメージとのギャップはあったか」などではないでしょうか。今回は福島市役所で働く若手職員に集まっていただき、若手座談会を開催。その様子の一部をご紹介します。先輩方のリアルな声を参考に、福島市役所で働くイメージを膨らませてみてください！

一緒に福島市を動かしていこう！



**行政職 / J・Kさん**  
所属 総務課  
入職 5年目

**資格免許職 / W・Sさん**  
所属 こども家庭課  
入職 5年目

**技術職 / T・Sさん**  
所属 公共建築課  
入職 2年目

**技術職 / A・Kさん**  
所属 河川課  
入職 2年目

## ①福島市に入職した決め手は？

- A・K** 私は入職前、2年に1回東北各地を転動していた。転勤先の福島市で結婚して定住しようと転職しました。都市圏へのアクセスが良いのがポイントかな。
- J・K** 自分も同じで2年に1回県内を転動していました。当時は大変だったけど、今は引越す必要がなくて楽だね。おかげさまで趣味のサーフィンに没頭しています(笑)。
- A・K** サーフィンで思い出した！自然があってリフレッシュできるのも好きです。
- W・S** たしかに自然は多いね。私は高校と大学が福島市で、そのまま保健師として就職しました。市民の皆さんに寄り添いたくて市の保健師になると決めたんだ。
- T・S** 私も生まれ育った福島市のために働きたくて、地元で貢献できていると実感できてやりがいがありますね。あと2歳からはじめてバスケットボールは今も続けていて、地元の友達がいるのも大きいですね。

## ②今の仕事や職場の雰囲気は？

- T・S** 建築分野では大学で習わない現場の知識が重要になります。そんなときは先輩方に相談して対応するのですが、皆さん優しい方ばかりでとてもありがたいです。
- A・K** 私の先輩方も優しい！大雨警報が出たときはベテランの先輩が注意した方がよい場所を教えてください、相談にも気軽に乗ってくれます。
- W・S** 分かる！福島市の先輩方は優しく頼りになる方ばかりだね！保健師の仕事は各家庭の状況によって対応が異なるから、難しい場面もあって。そんなときは先輩や同期と相談して対応します。
- A・K** うちの部署はみんなで土のう袋をつくることもあって、チームワークもいいと思うな。
- W・S** チームワーク大事だね。私の先輩方は頼りになるのももちろん、フレンドリーな方が多いので、「お姉さん」的な存在だね(笑)。
- J・K** 自分も対応に迷うときは先輩に聞いて疑問を解消しています。質問しやすい雰囲気で働きやすいですね。
- T・S** どの部署の先輩も優しくして頼りになる人が多いのが福島市役所の特徴かもしれないね！



## ③入職する前後のイメージギャップは？

- J・K** 法学の勉強をしていたのですが、なかなか実務で活かせることが少なく、その部分がギャップかも。
- W・S** 私も看護学校を卒業したけど、全てを活かせるかというところはなくて。何年か仕事をしないと身につかないことがほとんどだと思うな。
- A・K** 私は意外とデータをまとめることが多いのに戸惑いましたね。
- W・S** たしかに！効率よく業務を進めるにはパソコンの知識も必要だね。
- T・S** 入職してすぐは事務作業が多くて、戸惑いましたね。え、建築分野でもこんなに事務作業するんだって(笑)。
- J・K** みんなそれぞれ違う部分でギャップを感じているみたいだね。私は国家公務員だったんだけど、福島市役所の方が裁量の度合いが大きいかも。それは良い意味でギャップだったね。



## ④福島市職員を目指す人へ一言！

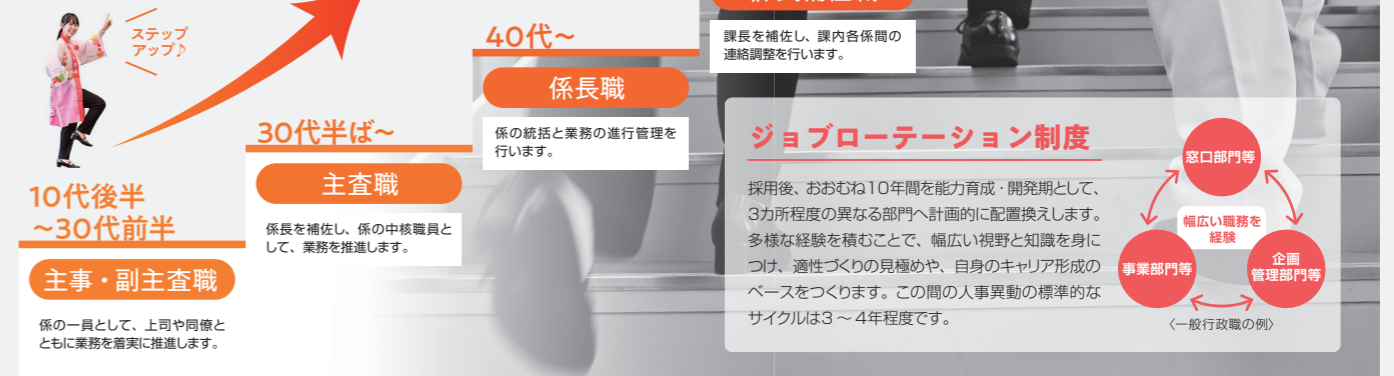
- T・S** 入ってから勉強しても遅くないよと伝えたいですね。ぜひ、一緒に建築分野で働きましょう！
- W・S** 一緒に！入職した当時は知識不足だと感じていたけど、研修の機会も多くて安心だったな。
- J・K** 入職した当時は不安だったけど、指導員制度(裏表紙で紹介)があっっても助かったのを覚えています。やりながら自然に覚えるから大丈夫！
- A・K** 福島市の土木職は「コンサルタント・ゼネコン・施工」など全てに関わることができるのが魅力です。何が向いているかわからないという方にぴったりかも。
- J・K** そう！何事もやってみないとわからないもんね。
- T・S** 質問しやすい環境が整っているし、安心してほしいですね。一緒にこれからの福島市の未来をつくっていこう！

若手職員のみなさん、ありがとうございました！

## キャリアイメージ

福島市職員としてキャリアのステップアップのイメージをご紹介します。行政職、専門職ともにキャリアが進むにつれて求められる役割も変化していきます。入庁前はどのようにステップアップしていくのが不安な部分もあるかもしれませんが、福島市は人材育成制度が手厚いため、力をつけながら安心してキャリアを進めることができます。このページを参考に自分自身のライフプランや自分の将来の姿をイメージしてみてください。

※表示している年齢は目安です

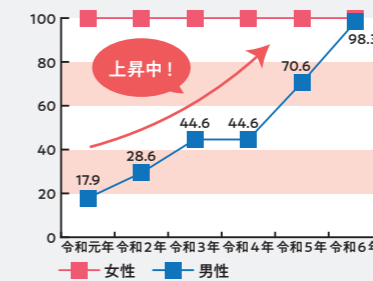


## ワークライフバランス

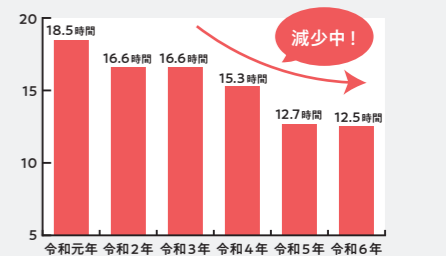
### ●主な休暇制度

- 有給休暇 ..... 20日
- 夏季休暇 ..... 5日
- 結婚休暇 ..... 7日
- 育児休業 ..... 子が3歳になるまでの期間

### ●育休取得率 男性の目標値:100%



### ●時間外勤務 目標値:11.0時間(月あたり)



## カジュワークプラス職員制度

「カジュワークプラス職員制度」は農業分野の労働力不足の解消、市職員の地域貢献および人材育成を目的として、職員が報酬を得て市内の農家をお手伝いする制度です。令和6年度はのべ160名以上が従事しました。全国でも先進的な取り組みであり、年々制度を活用して地域で活躍する職員が増えています。

### カジュワークプラス職員制度利用者の声

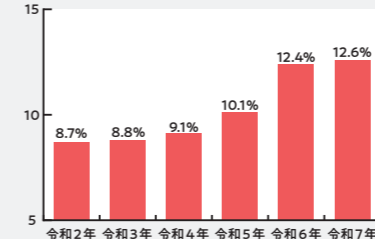
- ・経験できないことを経験することができた。普段では感じられない観光としての魅力を直接感じる事ができた。
- ・他の職業の方と一緒に働くことができ、良い刺激となった。また体を動かすことでリフレッシュにもなった。



## 女性管理職

女性が活躍できる職場の拡大を目的に、女性がこれまで少なかった職場にも積極的に女性職員を配置し性別を理由とする担当業務の固定化を防いでいます。女性の昇任や働き方などの不安解消のための「女性キャリアアップ応援研修」も実施しています。管理職に占める女性の割合も年々アップしています。

### ●管理職に占める女性職員の割合 (令和7年4月1日現在)



実際に聞きました

**秘書課 課長 35年目**

課の取りまとめや市長・副市長の日程調整などを行っています。最初はきちんと務まるか不安でしたが、職員の方々に支えられ業務ができています。働きやすい職場環境づくりのため、広い視野をもちマネジメントしています。



採用に関して